

令和3年度公益財団法人東近江市地域振興事業団スポーツ事業検討委員会 会議録

日 時：令和3年7月9日（金）14時30分から16時まで

場 所：東近江市ひばり公園みすまの館大会議室

---

司 会： 本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。本日司会進行をさせていただきます、事業団総務課の泉です。よろしくお願いいたします。

本日の委員会終了予定時刻は16時となっております。限られた時間ですが、事業団が活躍できるスポーツ事業や文化事業提案のため、貴重なご意見がいただけますよう皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、先日お配りした資料に修正がありましたので、本日お手元の資料をご覧くださいますようお願いいたします。

それでは、ただ今から令和3年度公益財団法人東近江市地域振興事業団スポーツ事業検討委員会を始めさせていただきます。

初めに、理事長が開会の挨拶を申し上げます。

理事長： こんにちは。委員の皆さまには日頃から事業団の運営に当たり、専門的なご協力をいただきましてありがとうございます。この場をお借りしまして御礼申し上げます。

事業団の運営につきまして、今年度から能登川アリーナ、総合運動公園の指定管理が外れます。管理施設の縮小などによる影響を考慮しつつ、効率的な運営を図っていかうと思っております。そのためには3点の重点を考えまして、それについてやっていきたいと思っております。

まず1点目は、組織の機能強化です。規模が小さくなったことにより、さらに強固なものにしていかなければならないと思ひ、従来からある施設管理課に企画担当課長を加えた2人制とし、各施設の企画立案の調整並びに施設間の徹底強化の推進を図るとともに、企画戦略会議を設け、実践を図っていききたいと思っております。

2点目は人材の育成です。2名の職員が東近江市へ出向し、実務を体験することとなりました。これによって、事業団では経験できなかった様々なこと、また、色々な角度から物事を見ることが出来ます。そういったことから出向を終え、事業団へ戻った暁には、これらの経験が大いに役立つと思っております。

3点目には、先に述べたとおり、総合運動公園は指定管理を外れましたが、新しい指定管理者から運営業務の一部の委託を受け、これを受託し3月末まで布引陸上競技場、布引体育館に勤務していました5名の職員を現地に派遣しています。年度初めの4月には、少なからず混乱があったようですが、5名の職員の今までの経験を活かし、スムーズな運営ができたと聞いています。今までと立場が変わり、様々な問題が生じると予想されますが、経験を活かして事業団の職員としての誇りをもって仕事に当たってほしいと思っております。そして5名の職員には、この機会が絶好のチャンスと捉え、民間の施設運営に関するノウハウを勉強し、事業団に戻ったときにはその経験とノウハウを活かしてほしいと思っております。

以上、3点を主な柱として今年度運営をしていきます。今日の委員会では、昨年度の事業報告の結果を踏まえて、今年度の事業の在り方について審議をしていただきたく思います。コロナ対策によって中止や規模縮小しなければならないところもあると思いま

すが、皆さんの豊富な経験で意見をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

司 会： つづきまして、本日お忙しい中、ご出席いただきました委員の皆さまをご紹介します。紹介

それでは、令和2年度公益財団法人東近江市地域振興事業団スポーツ事業について報告いたします。

職 員： 令和2年度スポーツ事業実績報告をご覧ください。説明

司 会： つづきまして、令和3年度公益財団法人東近江市地域振興事業団スポーツ事業計画を説明いたします。

職 員： 令和3年度スポーツ事業計画をご覧ください。説明

司 会： それでは、令和2年度スポーツ事業実績報告並びに令和3年度スポーツ事業計画等について、ご質問等ございませんか。

委員A： インボディの測定ですが、ついこの間まで布引グリーンスタジアム中心に実施されていたと思いますが、今年度も引き続き総合運動公園中心に実施されると考えていいのでしょうか。スタジアムでインボディを測ると500円必要になるが、そのお金は新たな指定管理者に入るのですか。

職 員： 私たちが今行っているインボディについては、無償で測定させていただいています。昨年度の検討委員会の時、同じ地区、又は同じ方を年間通して測定して、その変化を記録に残せないかという意見もあったのですが、昨年度はコロナの影響もあり実施できなかったため、可能であれば今年度そういったところで活動を広げていけたらと思っています。

委員B： 令和3年度の東近江市国民健康保険運動教室一覧の教室名ですが、こちらがもらっていたものには「姿勢改善体操&ウォーキング教室」となっていました。この資料では「姿勢ウォーク&ストレッチ教室」になっていますが、どちらが正しいのでしょうか。

職 員： 「姿勢改善体操&ウォーキング教室」が正しいので、資料の訂正をお願いします。

委員B： もう1点なのですが、2ページの所の4番目の「広報活動は～」とあるところで、保険年金課業務のお返し会となっておりますが、保険年金課のお返し会はありません。保健センターの集団健診お返し会はされるので、健康診断結果説明会のお返し会に変更されたいかと思えます。

委員C： 令和3年度の計画案の中で、連携事業として総合型地域スポーツクラブとの連携とあります。今回4月から事業団職員Bさんがスポーツ課に行かれました。色々総合型地域スポーツクラブの今後の育成、組織の展開等をお願いしています。以前、市役所職員Aさんがいたときに、総合型地域スポーツクラブを事業団で何とかうまくまとめてもらえないかをお願いしていたのですが、ある一定まで進んでいましたが、今回、総合運動公園の指定管理を外れたりしたことで話が進められなくなってしまっています。

基本的に今の総合型地域スポーツクラブは、1市6町個々で作ったクラブです。各市町で作って、それを東近江市が合併してまとめています。組織的にはものすごく軟弱なもので、本当であればしっかりした組織があって、しっかりした指導者がいることが理想なのですが、そうはいかないのが現状です。私たちはボランティア集団なので、そのボランティアでやれる範囲には限りがあります。そのクラブ運営をどういうふうにして

いくつか、クラブ経営をどうしていくかまでは考えられません。やっぱりそこにはそういった知識を持った人が絶対必要であると思います。強いて言うならば、野洲とか草津なんかは一本化されて、その中で専門の指導員などがいて企画立案、運営等をされているようですが、なかなかそういったことができないです。

皆さんご存知のとおり、東近江には7つのスポーツクラブがあります。一番小さいところは奥永源寺で、やっておられるのはグラウンドゴルフだけです。基本的には、誰もが色んなスポーツを楽しめるというのが総合型地域スポーツクラブの趣旨なので、それに合っていないと言えます。そういったところを、東近江市総合型地域スポーツクラブとしてまとめていてもらいたいのです。直ぐにできないことはわかっているので、数年掛けてやっていけたらと思います。それにはどこかの力を借りなければできないことですし、新しい組織を作るのも難しいです。今は、東近江市に任せている状態ですが、事業団は半官半民であるので、組織に入って地域のスポーツ行政に参加してもらえたらと思います。

昨年、考えていただいていたし、色々あって進まなくなってしまいましたが、もう一度お願いしたいです。新たな布引体育館指定管理者さんと話すと、スポーツは「経営」というお考えがあるので、なかなか協力的ではありません。逆に、総合型地域スポーツクラブが今まで使っていた時間・場所を返還してほしいと言われました。それは致し方ないと考えています。しかし、総合型の事務所が同じ布引体育館内にあっても、気楽に相談ができない状況です。その辺をこれからどういうふうにしていくかですが、私の考えでもありますが、事業団職員Bさんもまたこちらへ帰られて、そのノウハウを持ってまた経営に立ち会ってもらおうということなので、大いに活かしてもらいたいと思っています。また、ここ数年で彼が総合型の道筋をつけていかれると思うので、それにプラスして（事業団としても）協力いただきたいと思います。

職員： そのことに関して、我々の企画戦略会議の中でも事業団職員Bに出席してもらって、どのようなことが模索してやっていけるか、それから総合型地域スポーツクラブの問題としては、7～8年前から課題としてあがっていましたので、どういったことが事業団としてやっていけるか、まだはっきりとは申し上げられませんが、何か道筋ができるといいかなという思いで、また、検討していきたいと思っています。

司会： 他、よろしいでしょうか。委員Dさん、よろしいですか。

委員D： ダンスフェスティバルのことなのですが、現在開催場所を検討するというお話なのですが、毎年皆さんがとても楽しみに参加していただいていた楽しいお祭りが、急にこのように布引体育館ではできないということになって、生徒の皆さんや先生方が「どうなるのかな。」と。そして、まず私たちのダンスフェスティバルというのは発表の場であって、発表するためにはずっと継続してその前から練習に入っていて、発表で達成感というものを味わってもらってという、ちょっと長い期間を必要としているので、検討していただけるならなるべく早く教えていただいて、みんながまた楽しいフェスティバルができるように心待ちにしていますので、よろしくお願いいたします。

職員： それに関しまして、一番問題になってくるのは駐車場問題です。布引体育館やグリーンスタジアムほどの広さが確保でき、なおかつ発表できるようなステージ設備を備えている場所が必要であり、今、蒲生体育館がリニューアルしたのでそこを何とか活用でき

ないかと考えていますが、駐車場の問題がどうしても難しく、規模は縮小されるかもしれません。が、何とか開催できるように考えていきたいです。委員Dさんは、ダンスフェスティバルの委員をさせていただいているかと思うので、その辺でご指導いただきながら開催に漕ぎ着けられたらと思っていますので、その節は、よろしくお願いします。

委員D： 本当にみんなが知りたがっています。するのかもしれないのか、それによって練習に影響が出てくるので、ぜひお願いしたいです。駐車場の件が難しいということですが、布引体育館を借りて開催することはできないのでしょうか。

職員： 今のところは検討の中には入っていません。担当課と話し合っ、協力してもらいながらできることはないかと思っています。布引体育館を借用するに当たっては、管理者が企業なので非常にシビアです。（借用料が必要）そうすると、参加費が以前よりかなり上がってしまうことになり、参加者への負担が大きくなってしまいます。なので、他を検討することで参加しやすいように考えていけたらと思っています。

委員D： ぜひ開催されますように。

委員C： その件について、昨年エクササイズウォーキングをやりましたね。あれは以前の5月5日の（市民ふれあいスポーツday）は事業団からの依頼で行いましたが、今回は事業団とのコラボでやりましょうということ（布引グリーンスタジアム）でやりました。これは、スポーツ推進委員協議会に何かお手伝いをしてくださいということで、出前講座をお願いをしました。こういった事業団と同じ立場でコラボできるようなことができれば良いかと思っています。

職員： それにつきましても、事業団職員Bの方からこの前の会議で、そういったことでコラボすることを検討していくということが重要であると話がありました。

司会： 他、委員Eさんからどうでしょうか。

委員E： 今回初めて会議に参加させていただいて、事業の内容も含めて初めて知ったこともあります。今、皆さんが質問されているように、今回布引の指定管理が外れたことによって事業がやりにくい、事業が進んでいないということ、改めて事実として知りました。

私たちについては、報告などで説明がありましたように、介護保険の関係で高齢者の（介護）認定者が少しでも認定されるのが遅くなるように、一人でも元気に暮らせるように、介護予防と健康の推進ということで高齢者の体力測定会を計画させていただいて、その中で併せてインボディの方も一緒にやって、その結果をミックスして今後につなげていきたいという事業を行っています。

1回きりではなく4箇月に1回、年3回実行し、次回の測定までに家庭でできる、継続してもらえるメニューをお知らせします。それを記帳できるノートを渡し、次回来ていただいたときに分析などもしていきたいと思っています。

令和2年度からの事業ですが、コロナでスタートがどんどん遅れていって、募集した団体もその会自体を開かないところが多く、数としては少なかったのですが、3年度は感染対策に気を付けていただいているところが10団体ほどあるので、そのデータを分析して、今後どういうふうにしていけば介護予防に、健康寿命が延びるのかに繋げていけたらと思っているので、ご協力をお願いします。

委員C： 令和3年度国民健康運動教室で、今、東近江市と推進委員協議会と保健センターで進めているスクエアステップというのはご存知でしょうか。このスクエアステップを広め

ていこうと思っています。これは高齢者の介護予防に大きく役立つということで、国立大学の先生が開発して、国立大学全体で進めておられるのですが、東近江市の指導員が15名おられます。それと、今年もまた指導者講習会をやります。そうすると指導者が25名ほどになります。その他にボランティアが50名程度いて、委員Dさんも講習を受けていただいています。今、東近江市がこの事業を進めていますので、今年度は無理ですが、来年度の国民健康運動教室に加えていただきたいと思います。

職員： 検討する範囲内とは思いますが、計画の段階でまた委員Cさんの方に相談をさせていただいて、進めていけたらと思います。

委員C： スクエアステップの団体が作ればと思っていますので、団体ができればまた協力をお願いしたいです。

職員： 両方が指導できる機会と、それに加えてこちらが会場とかの準備させていただいた中で、皆さんに気持ち良く運動していただける環境を作りたいという思いがあります。その時にはまたよろしくお願いします。

司会： 委員Fさんどうでしょうか。

委員F： 私も今まさにスクエアステップのお話をさせていただこうと思っていたのですが、国保の関係や介護の関係からすると検討の余地はあるのかなと感じています。委員Cさんも委員Dさんも指導員の資格をお持ちなので、この場にはぴったりのエクササイズではないかと思いました。今年度、推進協議会を設立できたらと思っていますので、そのできた協議会とコラボして、スクエアステップを用いて何か教室などが色々な事業や団体(グループ・サロンなど)と絡めてできればいいと思います。

今、ラジオ体操第3についても出前講座の依頼などがありますが、多くは小学校の親子活動などの準備運動に取入れらえたりしていて、そういうのもうまく両立して取入れられるといいと思います。

委員D： スクエアステップは、皆さんの力でものすごく地域に根付いてきています。ボランティアさんも一生懸命やっただいていて、コロナなので今は制限されていてできませんが、御園地区などはまだまだ広げていこうという勢いがあります。コロナが収まったら、また直ぐ活動を始めようと考えてくださっているようなので、ラジオ体操も同じようにやっていけたら、範囲がより広まって良いと思います。

司会： 他、ご意見ご要望等、よろしいでしょうか。

それでは、本日の予定しておりました内容はすべて終了いたしました。委員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。最後に常務理事が御礼の挨拶を申し上げます。

常務理事： 本日はご多忙の中、令和3年度スポーツ事業検討委員会にご出席いただき、貴重なご意見を賜りまして本当にありがとうございました。

当事業団は、指定管理者としてお預かりしている施設が今年の4月から16施設から12施設となり、今まで実施してきました事業を大幅に修正せねばならない状況となりました。こうしたことから、今まで実施してきました事業を見直し、新たな事業展開を全職員が一丸となって取り組んでいく所存であります。

中でも、先ほどからご意見をいただきました総合型地域スポーツクラブの件や、ダンスフェスティバル等の開催について、精力的に取り組んでまいりたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、スクエアステップについては、一度我々職員が行かせていただいて、見学をさせていただきたいと思いますので、またその節にはよろしくお願いいたしたいと思います。

本日は、委員の皆様からいただいた貴重なご意見を、事業団の企画戦略会議において参考にさせていただき、また、今後の事業に反映させてまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援ご協力をお願いしたいと思います。

最後になりましたが、委員の皆さまには益々のご活躍をご祈念いたしまして、簡単ではございますが閉会の挨拶とさせていただきます。

本日は大変ありがとうございました。

司 会： 本日はお忙しい中、ご出席いただきまして本当にありがとうございました。これにて閉会とさせていただきます。ありがとうございました。